

館長のガラストーク

□新しい企画展について

この9月10日(水)から「倉敷ガラスの展開—小谷眞三・小谷栄次の仕事」が始まります。この展覧会は、「倉敷ガラス」というブランドを築いてきた小谷眞三さんと小谷栄次の仕事を紹介するものです。

水島でクリスマスツリーの飾り玉を作っていた小谷眞三さんは、ある時コップの制作を頼まれ、試行錯誤の末にたっぷりとして温かみのある作品を仕上げます。これが倉敷民藝館長の外村吉之助氏の目に留まり、その後は民芸思想に影響を受けながら制作に努めました。

昭和39年に一人一貫作業の炉を築き、50年にわたって制作一筋の道を歩みます。

一方、大学卒業後、会社勤めを辞してガラス作りの世界に入った小谷栄次さんは、父の教えを受け、繰り返しの作業を通して技術を習得していました。1983年に倉敷市羽島に窯舗を構え、その後、1996年には父・眞三さんの工房がある粒江に工房を移して制作を続けています。

この展覧会では、小谷眞三さんと小谷栄次の作品を並べて展示し、父子の間で作品の形や色彩について何が継承され、何が新たに展開されてきたのかをたどってみます。お二人の創作の軌跡をじっくりとご覧下さい。

妖精の森ガラス美術館 館長 畠山 耕造



小谷 真三
「水差」



小谷 栄次
「酒瓶とワイングラス」

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話 (0868) 44-7888

鏡野町立中学校統合準備委員会に係る経過報告

7月23日

新しい中学校づくりのための、鏡野町立中学校統合準備委員会開催経過

6月30日

鏡野町教育委員会として中学校の統合については、今の子どもたちの状況や学校の状況、将来における鏡野町の生徒数の推移を見た上で、ある程度の規模の中で総合的に教育していくべきだという思いで進めています。「子どもたちが楽しく学習でき、鏡野町の子どもとして3年間勉強や部活動をし、社会に出で行き将来的には鏡野町を背負つていくてくれる子どもを作っていく学校を目指したい。町内の全ての子どもを新しい鏡野町の子どもとして育てたい。」この考え方で統合を進めてまいります。

協議内容

「校名、校歌、制服・体育服、通学体制、統合校への移転」について協議

鏡野町では、情報公開制度と個人情報保護制度を実施しています。

この2つの制度は、市民の皆さんの公文書の閲覧などを請求する権利を保障するなど情報を公開することで町政をより一層開かれたものにし、町が保有する個人情報の適正な取り扱いを確保し、個人の情報報を扱うルールを確立することで、町民のプライバシーを守り市民の皆さんの町政に対する理解と信頼を深め、市民参加による公正で民主的な町政を一層推進することを目的としています。

情報公開制度・個人情報保護制度の運用状況

平成25年度

情報開示請求の状況

情報開示請求件数	54件
内 全部開示件数	24件
内 一部開示件数	28件
内 不開示件数	2件
内 却下件数	0件
不服申し立て件数	0件

個人情報保護の状況

個人情報ファイルの通知	0件
個人情報開示請求件数	0件
鏡野町情報公開・個人情報保護審査会開催	1回